

平成 1 7 年度 科学技術関係予算改革への取り組み

- 連携施策群の創設・推進について -

平成 1 6 年 1 0 月 8 日

第 3 8 回総合科学技術会議（平成 1 6 年 7 月 2 3 日）配布資料、及び、
第 3 9 回総合科学技術会議（平成 1 6 年 9 月 9 日）配布資料より抜粋

科学技術連携施策群の創設・推進について(案)

- 1 平成16年7月23日の本会議において決定された「平成17年度科学技術関係予算の改革について」における、科学技術連携施策群(以下、「連携施策群」という。)の創設・推進の方針に基づき、連携施策群のテーマを次のとおり決定する。
 - (1) ポストゲノム - 健康科学の推進 -
 - (2) 新興・再興感染症
 - (3) ユビキタスネットワーク - 電子タグ技術等の展開 -
 - (4) 次世代ロボット - 共通プラットフォーム技術の確立 -
 - (5) バイオマス利活用
 - (6) 水素利用/燃料電池
 - (7) ナノバイオテクノロジー
 - (8) 地域科学技術クラスター
- 2 各連携施策群に含める個々の施策については、科学技術政策担当大臣及び有識者議員が、平成17年度の科学技術関係施策の優先順位付けの過程において、外部専門家の助言を得て、不必要な重複の排除、連携の強化等に係る点検を行った上で決定する。

併せて、科学技術政策担当大臣及び有識者議員は、連携施策群ごとに重要度に関する所見を付すものとする。

これらについては、次回の本会議において報告する。
- 3 科学技術政策担当大臣及び有識者議員は、その後の予算編成過程においても、不必要な重複の排除、連携の強化等の観点から点検を行い、必要に応じ、各連携施策群に含める施策の加除又は修正を決定し、本会議において報告する。

(備考)

- 1 この決定において、「施策」とは、主に、研究開発を行う事業であって、府省の事業として行うもののほか、研究開発を行う独立行政法人、国立大学法人等が実施するものを含む。
- 2 平成15年7月23日総合科学技術会議決定「ナノテクノロジー・材料分野の産業発掘の推進について」に基づき府省「連携プロジェクト」として実施されている「ナノDDS(ドラッグ・デリバリー・システム)」及び「ナノ医療デバイス」に係る研究開発については、連携施策群の「ナノバイオテクノロジー」に位置づけし直して推進することとする。

2 . 科学技術連携施策群(連携施策群)の創設・推進

各府省の縦割りの施策に横串を通す観点から、総合科学技術会議は、国家的・社会的に重要であって関係府省の連携の下に推進すべきテーマを定め、関係府省とともに、「科学技術連携施策群（連携施策群）」として積極的に推進

テーマは、有識者議員が候補を示し、概算要求前に各府省からのヒアリングを行い、各府省と調整をした上で、9月の本会議において決定

概算要求前(8月)、優先順位付け(10月)、その後の予算編成過程(11月)の各段階（3段階）で総合科学技術会議がチェック。優先順位付けの段階で、連携施策群ごとに重要度を付す。財政当局との組織的連携を強化

群ごとに、重複を排除し連携効果を高めるため、総合科学技術会議の下に連携推進ワーキンググループを設け、コーディネーターを配置

重複排除の徹底の上、連携施策群の中で欠落している課題について、総合科学技術会議のイニシアティブの下、必要に応じ科学技術振興調整費を活用

2. 科学技術連携施策群(連携施策群)の創設・推進

科学技術連携施策群の
テーマ選定の考え方

科学技術創造立国
の観点から国家的・
社会的に重要な施策

関連施策の不必要な
重複排除が必要な施策

複数の省庁にまたが
り、省庁間の連携が必要
な施策

テーマ候補例	主な関係府省								
	内閣府	防衛庁	総務省	文科省	厚労省	農水省	経産省	国交省	環境省
ポストゲノム									
新興・再興感染症対策									
ユビキタスネットワーク									
次世代ロボット									
バイオマス									
水素利用 / 燃料電池									
ナノバイオテクノロジー									
地域クラスター									

科学技術連携施策群のテーマ選定過程

